

長崎もり通信



▲ふるさとの森フェスタ 丸太でカーリング

ふるさとの森フェスタを開催
～森での体験に笑顔広がる～

11 2025
No.097

木こり体験イベント

～森で遊んで学ぶ体験～

安全講習会 長崎地区

～里山林活性化による多面的機能発揮対策～

森のキセキ「植栽の注意点」

～樹木医 久林さんに聞きました。～



木こり体験



秋晴れの森フェスタ



安全講習会

ふるさとの森フェスタを開催

～森での体験に笑顔広がる～

令和7年11月3日（月・祝）森林や木と触れ合うことで、森林の楽しさや大切さを感じてもらう「ふるさとの森フェスタ」を、長崎県民の森で開催しました。去年は台風により中止となりましたが、今年は秋晴れが広がる中、総勢500名を超えるみなさんが森林体験を楽しみました。

ふるさとの森フェスタは、ひびき珈琲の近藤さんのサックス演奏により、華やかに幕が開けました。

体験ブースでは樹木医皆さんとの森林散策や、木材でジャングルジムを作って遊ぶ「くむんだー」、長崎南部森林組合長崎支所さんによる木工クラフトなど他にも森林ボランティア団体さんの趣向を凝らした多くの出展があり、終日にぎわいを見せました。

販売ブースでは、ジビエ角煮饅頭や、ピザ、焼き鳥が人気で早々に完売。ステージイベントは親子連れで楽しめる〇×クイズや、丸太でカーリング、フォトコンテスト授賞式も行われ、盛沢山の日となりました。お子さんに大人気の森林の〇×クイズでは、「2回目も挑戦したい。」などの元気な声も聞かれました。

NBCラジオの公開生放送もあり、出展者や来場者も出演し森フェスタを盛り上げてくれました。

ふるさとの森フェスタは、森林ボランティア団体や森林・木材関連の皆さんのお陰で成り立っているイベントで、感謝の一言に尽きます。ご協力いただいた全てのみなさん、森フェスタまで来てくださった来場者のみなさま、本当にありがとうございました。



出展者に向けて始まりのご挨拶



サックス演奏で華やかに開幕



親子連れに大人気



森の〇×クイズ



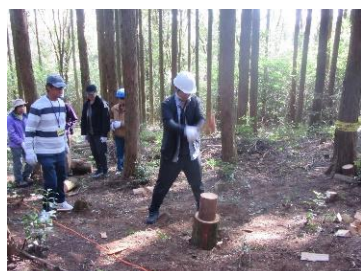
くむんだー



森永材木店

木こり体験 ～森で遊んで学ぶ体験～

毎年恒例となった森フェスタの「木こり体験」をご紹介します。今年は15名の参加がありました。参加者はヒノキ林に入ったことがないようです。ヒノキ林に入り、「この木が植えて何年経っているか。」などの声が聞かれました。いよいよ伐倒です。受け口、追い口を入れ参加者全員でロープで倒します。倒した木の迫力に参加者からは拍手がありました。倒したヒノキは参加者が丁寧に枝払いをしていきます。そしてスタッフからは「この木は50年生、大切に使ってほしい。」と声がかかり、「丸太を持って帰りたい。」という参加者もありました。ヒノキの玉切りの見学や薪割り体験、プレートづくりなど、伐るところから使うところまで体験した参加者は、「はじめての経験。」「また、体験してみたい。」との声が聞かれました。来年もお待ちしております。



安全講習会 長崎地区

～里山林活性化による多面的機能発揮対策～

10月25日（土）日吉自然の家で長崎森林・山村対策協議会による安全講習会が開催されました。安全講習会は、各地域で整備活動をされている方々が安全作業について再確認をし、情報共有を行うことで事故などを未然に防ぐ役割があります。

はじめに、危険な場面（ヒヤリ・ハット）の共有を行いました。伐倒した木の根元の跳ね上がりや退避時の危険など、一步間違うと大けがに繋がってしまう場面もあり、参加者の気が引き締まるのを感じました。また、作業の仕方にも上下作業の禁止などのルールがあり、それらを再確認しました。

次に、かかり木処理を実践しました。2人の参加者の方が、実践しました。フェリングレバーで回しても処理できない時にロープを使って外していきます。かかり木処理は事故の件数が多い作業で参加者も熱心に確認していました。参加者からは「安全な作業について再確認できた。」「大変参考になった。」などの声がきかれ、安全の輪を広げることができたようです。



ヒヤリハットの共有



機材の確認



かかり木処理

森のキセキ

「植栽の注意点」

樹木医 久林さんに聞きました。

軌

跡

前は長崎県樹木医会の久林さんに植栽の適期についてお聞きしました。今回は注意点等について更にお尋ねします。

センター：葉が多くついた幼木を植栽する際の注意点などがありますか。

久林さん：植栽する場所によりますが、葉から出ていく水分量と根から吸収できる水分量のバランスが大切です。葉が多すぎる場合は葉量を減らしますが、減らしすぎると根に必要な養分を葉で十分作れなくなり、生育の停滞や衰弱がみられ最悪の場合、枯れることもあります。新しい芽が出る、垂れていた葉がしっかりなるなど、根が活着した兆候がみられるまで適宜灌水するなど注意が必要です。

センター：では、植栽地はどういった場所が適しているのでしょうか。

久林さん：そうですね、樹木の生育には排水の良い状態であることがとても重要になります。粘土分、砂や礫が多い土壌などでは土壌条件を改善しておきます。地形では平坦地より緩傾斜地の方が、水がはけやすいので、植樹するには好適地といえます。また、強風が当たる所も避けた方が無難です。強い風が吹くと樹木は蒸散活動を停止することもありますし、代謝は低下します。加えて強風にあおられて樹体が傾いたり、幹が回ることで根が切れてしまい、生育が悪くなる場合が多いです。このように植栽地の選定は正しい見極めが必要ですが、樹木は植えて終わりではありません。成長状況にもよりますが最低でも5年ほどは下草刈りなどの管理を定期的に行い見守ってください。

センター：二回続けて貴重なお話をありがとうございました。



センターからのお知らせ

センターのホームページはこちら→



森フェスタは森や木に触れる体験イベントです。来場者の声から森林や森林資源への関心が高まったと感じています。ご出展者、ご来場の皆様、また運営を手伝って頂いた関係者のみなさま、本当にありがとうございました。

登録団体の皆様へ 11月分の活動報告は、12月10日までにご提出ください。